

科目ナンバリング		U-LAS21 20006 SO48									
授業科目名 <英訳>		ドイツ語II B D2161 Intermediate German B				担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 山取 圭澄			
群	外国語科目群			分野(分類)					使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	木4		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向		
[授業の概要・目的]											
テーマ テキストの読解を通してドイツ文化・文学への造詣を深める この授業ではテキストの読解を通じて、語彙力を強化するとともに、ドイツ文化・文学についての知識も養います。初級ドイツ語の知識が必要になりますが、重要な文法事項については解説・復習していきます。 作家や文化的・時代的背景について調べ、発表・ディスカッションする時間も設けることで、テキストをより深く理解することを目指します。											
[到達目標]											
- 辞書を使いながら、中級レベルのドイツ語を読むことができる - 読んだテキストについて、その文化的・時代的背景などを説明できる											
[授業計画と内容]											
基本的に教科書に掲載されているテキストを読み進めていく 1. オリエンテーション 2-3. オトフリート・プロイスラー『クラバート』 4-5. フランツ・カフカ『変身』（発表：同化ユダヤ人、カフカ受容） 6-7. パウル・ツェラン『死のフーガ』（発表：ナチズムへの反省、フーガとは） 8. 春学期前半の振り返り 9-10. リヒャルト・フォン・ヴァイツゼッカー『1985年5月8日の演説』（発表：現代ドイツの政治体制） 11-12. トーマス・マン『ヴェニスに死す』（発表：ドイツにおける南方への憧れ、ドイツの市民文化） 13-14. ハインリヒ・ハイネ「ローレライ」、「歌の翼に」（発表：亡命作家ハイネ、ナチス時代の焚書） 15. 今学期の振り返り											
[履修要件]											
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。											
[成績評価の方法・観点]											
成績評価については、小テスト（30％）、発表（40％）・平常点（30％）などに基づくものとする。											
[教科書]											
『ドイツ語を読む 改訂版』（朝日出版社）ISBN:978-4-255-25417-3											
----- ドイツ語II B D2161(2)へ続く ↓ ↓ ↓											

ドイツ語ⅡB D2161(2)

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

テキストの指定範囲を予習してくること

[その他(オフィスアワー等)]

授業の前後かメールで質問すること。詳細は初回授業時に伝える。

[主要授業科目(学部・学科名)]